

◆水明インターネット句会◆ 令和七年九月		1	朝の月真白く観えた雨上がり
		2	盆波や思い出での夏置き去りに
		3	歳月の過ぐるは早し虫の声
		4	敬老日しづかに帯を締め直し
		5	先立ちぬ好いやつお前雲の峰
		6	燕帰るついに空き家となりにけ
		7	竹垣に絡まり葛の垣となり
		8	秋晴れや茄子を磨けば妻映る
		9	おしろいの咲く裏口に野良着脱ぐ
		10	灯の消えし回転木馬夜の霧
		11	独り居のけふの馳走は秋刀魚なり
		12	木の根っこ虫のライブの指定席
		13	命名を聞ひても読めぬ良夜かな
		14	落日のくれなゐを呑む秋の海
		15	つつましくなよと単衣の砂かぶり
		16	畦道は俺の花道曼珠沙華
		17	子には子の言い分のあり柘榴裂け
		18	点々と火の入る村や秋遍路
		19	読み止しの書誌に親しむ秋灯下
		20	陽の当る秋の草原売地札

◆水明インターネット句会◆																					令和七年九月																		
21	秋澄むや横切る蝶を見つけし子	22	道化師の玉乗りひとり月夜かな	23	秋暑し土佐のガイドの名調子	24	善き人と善きこと語らん菊の酒	25	青田波亡き妹偲ぶ故郷よ	26	夕照の湖へと渡る雁の棹	27	ブラウスのふくらみ抜ける秋の風	28	どよめきてイギリス空母秋高し	29	行合の空へ伸びゆく牽牛花	30	笑みあふて葡萄狩りでの一会かな	31	七年ぶりの漁に沸く秋刀魚かな	32	鳥居ぬけ一歩ためらふ敷紅葉	33	水晒し沈んで浮いて新豆腐	34	三日月や噛めばほろほろ金平糖	35	大潮や子と追ひかける鯊の跳ね	36	水平線の向かふに航る新酒かな	37	秋晴を食い尽くすやう鯉の口	38	TVシヨップ声裏返る残暑かな	39	階（きぎはし）の落葉に靴をすべらせて	40	白露や想ひ寄すとも消えゆきて

◆水明インターネット句会◆																				令和七年九月
41	ピーマンに似たる吾が腹吾が頭																			
42	涼風の頬撫でていく日暮れ道																			
43	閑かさや雨音響く長き夜																			
44	破芭蕉小動物の休憩所																			
45	目隠しでモデルなるなり西瓜割り																			
46	ご無沙汰の友より便り糸蜻蛉																			
47	秋の空気持ち良さげに往くとんび																			
48	ほろほろと蟋蟀のこゑ亡友のこゑ																			
49	棘のあることばを悔いて秋の暮																			
50	振り返り足音ばかり曼珠沙華																			
51	朝庭の風を背に受け箕をあおる																			
52	溪流で沸かすコーヒー秋立てり																			
53	穂芒の出窓を磨く如く触れ																			
54	タータンのズボン作るひ秋に入り																			
55	ほほづきの仄かな灯点る宵																			
56	摩天楼眼下は深き霧の中																			
57	勤行の声して朝の寺さやか																			
58	糸瓜忌や元気短命あんぱまん																			
59	艶やかに闇のふくらむ虫の声																			
60	「生きてるか」「あるよ」と秋の簾越し																			

[illegible]

																				◆水明インターネット句会◆
100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	令和七年九月
										「国宝」の話題ふくらみ房葡萄	八十年戻らぬ島よ雁の列	秋の草挑発的に壁に生え	銀河へと名月雲を分かちけり	運動会パパからもらう金メダル	ふんはりとみんなを包む紅芙蓉	一本の垣根の萩や匂ひをり	蜻蛉追ふ子らの背中に夕日影	水遣りの手間の省くる夕立来	野分たつ髪の大乱れやリーゼント	